



東北ハイテク研セミナー

岩手でのサツマイモ栽培の今とこれから

「本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われます。」

I 趣 旨

サツマイモの生産面積(2017)は3.6万ha、年間出荷量は81万トンで、主要生産地は鹿児島(35%)、茨城(22%)、千葉(13%)、宮崎、徳島など関東以西である。最近はそれぞれの加工に適した品種が育成され、収益性の高い畑作物である。そのため、東北でも栽培に取り組む農家が見られるようになってきた。岩手においても「クイックスイート」が栽培され、産直施設などで買い求めることが出来る。

しかし、東北のサツマイモ生産の歴史が浅く、加工法においても関東には及ばず、収益性が高いとは言い難い。そこで、研究者と生産者、加工業者、行政が一体となって活動を発展させるため、セミナーを開催し、近隣の関係者に紹介し、農業ビジネスとして成立する加工・商品化を目指して、意見交換を行います。

II 日 時 : 令和元年12月17日(火) 13時00分~16時00分

III 場 所 : ビッグルーフ滝沢 (岩手県滝沢市下鶴飼1-15)

IV 主 催 : 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
後 援 : 公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

V 内 容

1. あいさつ 13:00

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会事務局長 門間 敏幸

2. セミナー開催 13:10~15:10

司 会 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 星野 次汪

1) 全国的なサツマイモ栽培の現状と特徴ある品種の活かし方 (13:10~13:40)

. 日本いも類研究会会長 小巻 克巳 氏

2) 滝沢市におけるクイックスイート試験栽培結果について (13:40~14:00)

. 滝沢市 農林課 担当主査 様

3) サツマイモ販売に取り組んで (14:00~14:20)

. 農業生産法人 キートスファーム株式会社 代表取締役 南幅 清功 氏

4) サツマイモの新規加工法

ーブランチング・殺菌・減圧乾燥装置を使用した干し芋ー (14:20~14:50)

. 岩手大学農学部 教授 三浦 靖 氏

意見交換会 (14:50~15:10)

3. 試食および意見交換会 15:10~16:00

VI 参集範囲 : サツマイモ生産に関心のある農業経営者、食品加企業、農業指導機関、行政担当者など
(参加費は無料です)

VII 参加申し込み先 : 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 (事務局: 藤井)
TEL: 080-2806-9926 FAX: 019-641-7794
E-mail: tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp